

安倍政権のICT戦略



平成25年6月14日

自由民主党
情報通信戦略調査会 事務局長/IT戦略特命委員会 幹事
衆議院議員 橋本 岳

世界最先端 IT国家創造宣言

- 第2次安倍内閣におけるIT戦略
- 2013年6月14日(今日！！)閣議決定
- 自民党からは「**新たなICT戦略に関する提言
デジタル・ニッポン2013 -ICTで、日本を取り
戻す。-**」をIT戦略特命委員会(平井たくや委
員長)より5月21日に提言。政権をサポート。

世界最先端IT国家創造宣言 主な内容

基本理念

1. 閉塞を打破し、再生する日本へ
 - ・ 成長戦略の柱としてITを成長エンジンとして活用
2. 世界最高水準のIT利活用社会の実現に向けて
 - ・ IT総合戦略本部、政府CIOにより、省庁の縦割りを打破し、政府全体を横串で通し、IT政策を前進

世界最先端IT国家創造宣言

主な内容

- 公共データの民間開放、ビッグデータ利活用推進
- 農業・周辺産業の高度化
- 健康長寿社会の実現
- 世界一安全で災害に強い社会
- 効率的・安定的なエネルギーマネジメント
- スマートな道路交通(ITS)
- テレワークによる雇用形態の多様化
- 利便性の高い電子行政サービス
- 人材育成・教育
- 世界最高水準のITインフラ環境の確保
- サイバーセキュリティ

…など

中短期工程表 「世界最高水準のIT社会の実現①」

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度～	KPI
	概算要求 税制改正要望等 秋 年末 通常国会				
規制・制度改革	「IT活用の裾野拡大のための規制制度改革集中アクションプラン(仮称)」の策定 データ利活用ルール・制度見直し方針の策定	規制制度改革等の推進		IT活用の裾野拡大のための規制改革の推進	・政府情報システムのクラウド化等により、今後5年間で政府情報システムの数を現在の約1,500から半減、8年間で運用コストの3割圧縮を目指す。
革新的電子行政サービスの構築	日本版data.govの試行的立ち上げ 政府情報システム改革に関するロードマップ策定	地理空間情報、調達情報、統計情報、防災・減災情報等の優先的掲載 政府情報システムのクラウド化の本格化	本格稼働 PDCAサイクルの運用	国民・利用者を中心とした電子行政サービスの推進	・公共データの民間開放について、2015年度中に、世界最高水準の公開内容(データセット1万以上)を実現する。 ・OECD加盟国のブロードバンド料金比較(単位速度当たり料金)で、現在の1位を引き続き維持することを目指す。 ・今後2年間で、サイバー攻撃対応に関する国際的な連携や対話の相手国等の数を現在の約80ヶ国から3割増を目指す。
	ITダッシュボードを利用したPDCAサイクルの確立				
	オンライン利用を前提とした本人確認手続き等の見直し				
				番号制度の導入、社会保障・税分野等における業務改革の推進 マイポータル(仮称)の整備、個人向けサービス開始	
ITを利用した安全・便利な生活環境実現	課題の特定	規制改革や政策資源を集中的投入し、重点課題について分野複合的な解決を推進		安全・便利な生活が可能となる社会像の実現 成功モデルをパッケージで海外展開	・今後4年間で、スキル標準の企業における活用率を現在の20%から25%以上を目指す。

中短期工程表 「世界最高水準のIT社会の実現②」

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度～	KPI
	概算要求 税制改正要望等	秋	年末	通常国会	
世界最高レベルの 通信インフラの整備	世界最高レベルの光通信技術やネットワーク仮想化技術を用いたテストベッドの整備		テストベッドを産学官に開放	圧倒的に速く、限りなく安く、多様なサービスを提供可能でオープンな通信インフラの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・政府情報システムのクラウド化等により、今後5年間で政府情報システムの数を現在の約1,500から半減、8年間で運用コストの3割圧縮を目指す。 ・公共データの民間開放について、2015年度中に、世界最高水準の公開内容(データセット1万以上)を実現する。
	4Gの技術導入に必要な制度整備	周波数帯の割当	順次、サービス開始に向けた準備を開始		
	国際電気通信連合(ITU)世界無線通信会議(WRC-15)に向けた提案		新たな追加割当候補周波数の確保		
	競争政策についての検証プロセス	具体的な制度見直し等の方向性の検討	制度見直し等の実施		
サイバーセキュリティ 対策の推進	重要インフラ事業者等及び政府機関との間における情報共有等に係る新たな行動計画の策定		行動計画に基づく情報共有等の推進	強靱で活力あるサイバー空間の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・OECD加盟国のブロードバンド料金比較(単位速度当たり料金)で、現在の1位を引き続き維持することを目指す。 ・今後2年間で、サイバー攻撃対応に関する国際的な連携や対話の相手国等の数を現在の約80ヵ国から3割増を目指す。
	サイバーセキュリティ国際戦略の策定		多角的パートナーシップの強化		
		制御システム等のセキュリティの国内での評価・認証の整備	評価・認証を開始		
産業競争力の源泉となるハイレベルな IT人材の育成・確保	ITを活用した指導方法の開発等、学校におけるIT活用に関する総合的な効果・影響の検証等		1人1台の情報端末による教育の本格展開に向けた方策の整理・推進、デジタル教材の開発や教員の指導力の向上に関する取組の推進	ハイレベルなIT人材の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・今後4年間で、スキル標準の企業における活用率を現在の20%から25%以上を目指す。
	産学官連携による実践的IT人材を継続的に育成するための仕組みの構築		左記の仕組みを活用したIT教育の推進		
	義務教育段階からのプログラミング教育等のIT教育の推進				
	分野毎の専門人材に必要なスキル・タスクを特定		スキル標準の改訂		

これまでとの違い 「官邸主導」

- 「アベノミクス第三の矢」の重要な構成要素。
 - 日本再興戦略(日本経済再生本部)、規制改革実施計画(規制改革会議)、科学技術イノベーション総合戦略(総合科学技術会議)、経済財政運営と改革の基本方針(経済財政諮問会議)などとほぼ同時に、相互に連携しつつ一気に策定。
 - 農業(TPPを見据えて)、健康長寿社会(社会保障改革を見据えて)などの目標設定
- フットワークの軽い総理官邸
 - ネット選挙運動のための公職選挙法改正の実現
 - 一般用医薬品のインターネット等による郵便販売の実現

これまでとの違い 「本気度」

- **久しぶりのIT戦略担当大臣の任命**
 - 森内閣、小泉内閣には設置していたが、第一次安倍内閣以来、自民・民主政権を通じて任命なし。
 - 第二次安倍内閣で復活！山本一太大臣が担当。
- **IT戦略の閣議決定は史上初**
 - これまでにはIT戦略本部決定。

これまでとの違い 「省庁横断的」

- **政府CIO(内閣情報通信政策監)の設置**
 - 内閣官房副長官に次ぐ位置づけ。
 - 大臣政務官(議員)と同クラス、事務次官より格上。
 - 府省横断的な計画の作成、経費の見積もり方針の作成、施策の実施に関する指針の作成、施策の評価を担当。
 - IT関係の各府省の予算要求に口が挟める。
- 呼称を「IT総合戦略本部」と改める

これからの鍵 マイナンバー制度

- 今国会にて「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が成立！
- 社会保障制度(年金、雇用保険、医療保険料徴収、生活保護など)、税制(確定申告書等)、災害対策(被災者生活再建支援金の支給)に関する分野等の事務に活用
- 2015年(平成27年)中に番号通知、2016年(平成28年以降)利用開始。
- 医療関係は別途検討中。法施行後3年目途(予定では2018年(平成30年)ごろ)までに利用範囲の拡大について検討。

これからの鍵 社会システムとネットとの共存共栄

- ネットと既存社会システムの接点における絶えざるメンテナンス作業が必要
 - 個人情報保護法(ビッグデータ活用等)
 - 公職選挙法(インターネットによる選挙運動解禁)
 - 薬事法(一般用医薬品のネット販売解禁)
 - 児童ポルノ規制法

…などなど

これからの鍵 政治のICT化(汗)

- **国会議事堂にはADSLしか来ていない。**
 - **日本維新の会・浦野靖人衆議院議員が控室にWi-Fi環境を構築しようとして発見。今夏には解消？**
- **自民党本部の会議室にはLAN環境がない。**
 - **会議はペーパーフル。情報通信戦略調査会でペーパーレス化の実験をする予定**
- **やっとネットで選挙運動もできるようになった。**

御清聴ありがとうございました。

衆議院議員 橋本 岳

Webサイト: <http://www.ga9.jp/>

ブログ: <http://ga9.cocolog-nifty.com/>

Facebook: <https://www.facebook.com/gaku.hashimoto.3>

